

令和4年度
中学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

社会科における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

社会科における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (中学校)

1 単元の概要

学 年：中学校第2学年

単 元 名：「近代の日本と世界」8時間扱い

単元の目標：欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解できるようにするとともに、近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・ 学習問題の解決に向け収集した情報を整理・分析して話し合う際に、1人1台端末でデジタルホワイトボード上への書き込みや付箋の操作、スライドを作成することにより、ウェブブラウザによるデジタル媒体や教科書や資料集等の紙媒体の情報を整理・分類・統合したり、友だちの考えを即時に共有して情報をまとめたりすることができます。

3 使用したソフトや機能

- ・ ウェブブラウザ
- ・ 文書作成ソフト
- ・ 表計算ソフト
- ・ プレゼンテーションソフト
- ・ 学習支援ソフト

【参考資料】

- ・ 事例に関する学習指導案



社会科における1人1台端末を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」(中学校)

4 1人1台端末の活用例

【ICTの活用場面①】



〔収集した多様な情報を整理・分析する〕

- ・ 単元を貫く学習問題を追究する場面において、グループごとに「近代初期における欧米諸国の動き・出来事とその影響が分かる資料」を作成するため、1人1台端末で情報を収集した後、ウェブブラウザを活用し学習問題の解決に必要な情報の整理・分析をします。
- ・ 個別に集めた様々な情報をキーワード化し、スライド上の付箋化を動かしながら分類していくことで、情報を関連付けて整理・分類することができます。

【ICTの活用場面②】



〔整理・分析した情報を共有し、まとめる〕

- ・ 1人1台端末で整理・分析した情報を各自が持ち寄り情報を共有化するとともに、グループごとに共同編集を行い、まとめの資料を作成します。
- ・ グループ内で内容の正確性、論理性、分かりやすさを視点を議論しまとめていくことにより、社会的事象をより多面的・多角的に考察することができます。

社会科における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

ICT機器を効果的に活用し、「社会的事象について調べまとめる技能」を育成します。

① ICT端末を活用して情報を集める

見学において写真機能を使って記録したり、録画機能を使って映像を記録したり、映像の中に自分たちの解説を入れたりする。

ウェブ会議システムや電子メールを活用して、遠隔地にいる相手へのインタビュー活動（取材）を行う。

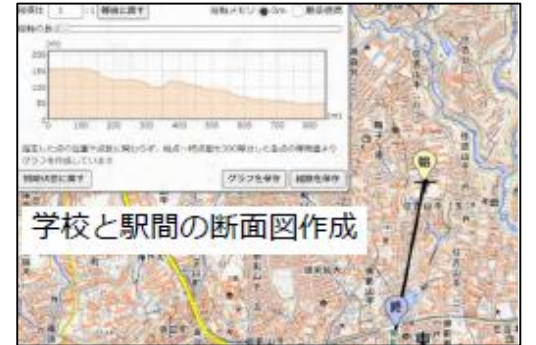


② ICT端末を活用して情報をまとめる

プレゼンテーションソフトなどに読み取った情報についての説明等を示し、発表する。



数値化された情報を地図等に変換したり、地図上にドットで示したりする。



【参考資料】

・各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について（文部科学省）



・GIGAスクール構想のもとでの中学校社会科の指導について（文部科学省）

